常磐文藝

詩　「幸福と悲哀」

二　光

遙か東の山と空の間から
勇氣に滿ちた
大陽が顔を出す
……平和な朝である
名も知らぬ美しい小花が
荒れ果てた庭の片隅に
微笑んでゐると
誰がお前を置いて
行つたの？、
光の小人がさう言ひ乍ら
美しい小花の体へ
からみつく……
（幸福が今二つのもの包んでゐるのだ）
やがて遠くの寺院でつく
鐘の音が
微風に送られて響いてくる
――靜かな夕べである
輝やかしい小花の体に
愛着を覺え乍らも
別れねばならぬ時の來た
光の小人は
　また明日くるよ
悲しげにさう言ひながら
ばら色の夕空へ消えて
行く……
（悲哀が今二つのものを
包んでゐるのだ）
幸福と悲哀が
こんな小さなもの迄も惡戯
するとは
あまりに運命の情けなさが
私の心へ喰へ入つて來てな
らない。

一册の代金で御希望通りの五册の雜誌が自由に讀める
川崎巡回文庫
平町長橋町三五
（申込次第規則書進呈）

内科。外科。婦人科
デアテルミー×光線
花柳病科胃腸病科
松村病院
平町南町電話一〇七番

内科。外科。耳鼻
咽喉科。花柳病科
高久病院
平町田町電話五一三番

内科。外科。花柳病科
耳鼻咽喉科。婦人科
赤心堂病院
平町田町電話四七五番

◎最良の品質
◎最低の價格
弊店謹製
カクニ石鹸
壹個金十錢
磐城平町
鶴屋
電話百四十番

開業
喜樂團子　一皿十五錢
喜樂すし　井三十錢　散廿五錢
出前は遠近に不拘
早速お届けします
◇女給募集す
平舘前　喜樂
電話呼出四六六番

披露

平町
相馬町
古田眼科醫院

營業種目
味付落花生
金米糖
磯の花豆
寶ドロップス
來豆
有尼子平糖
稻荷各種豆
平都五色豆
全世界各種豆
賣繭各種豆

新らたに菓子工場を經營して皆樣方の御家庭にお安く提供する事となりました何卒れ黄負の程を
久野製菓販賣部
福島縣平町一丁目
電話一五〇番
工場　平町長橋町六十一番地

清酒
鶴仙
醸造元　石城郡平窪村
松吉屋本店
電話二四一番

大好評
第九回　秋季福引大賣出し
御運次第で
百圓の品も
一等五割引十五本
二等貳割引三十五本
三等壹割引百三十五本
四等五分引三百十五本
五等參分引四百四十本
九月一日より
九月十日まで
◆福引は三圓以上御買ひ上げの方に差上げます
磐城平町（電話六七番）
亀中野呉服店

福引

眞に是れ鬼に金棒！
耐火耐震耐久力の絶大なる
日本コンクリート鐵網と
拔群優秀なる斯界の權威……
磐城セメントを推奨す
最も經濟的に然も超越せる無比の良材
（施工設明書を進呈致します）
特約代理店　平町五丁目
和洋銅鐵
金物問屋
久釜屋商店
電話長九番、一三九番

株式賣買中値
左記の値段は本日の標準値に付御用の節は御問合願候
銘格　拂込　時價
磐城銀行　五〇圓　五三、五
平銀行　五〇、〇　六八、〇
磐越銀行　一二、五　一〇、五
磐城實業　五〇、〇　四〇、〇
磐城實新　三〇、〇　二七、〇
田村實銀　一二、五　一二、五
四倉銀行　一七、五　一七、五
農工銀行　二〇、〇　二四、五
同　新　一五、〇　一八、八
百七銀行　五〇、〇　五五、〇
同　新　一二、五　一六、〇
七七銀行　一二、五　九、八
郡山電系　五〇、〇　三七、五
同　新　二五、〇　一七、五
貝見川電　一二、五　七、〇
植田水電　一二、五　一五、五
好間水電　一二、五　一三、〇
磐城建物　一二、五　五、〇
磐城製菓　二〇、〇　四、〇
平信託　五〇、〇　二五、〇
磐城勸業　一二、五　一三、五
植田物産　三〇、〇　二六、〇
平製氷　二五、〇　二〇、〇
好間軌道　五〇、〇　三〇、〇
入山新　三二、五　一七、〇
小田炭礦　二五、〇　五、〇
磐城炭礦　五〇、〇　四一、〇
同　新　二二、五　一八、〇
磐城セメント　五〇、〇　六四、五
同　新　三五、〇　四、三
平運送　一二、五　八、〇
賣買誠實懇切機敏に御取扱申候間多少に不拘御用命願上候
平町田町　電話三二二番
丸登株式店
川添房二郎

常磐毎日新聞

定價　一部金貳錢　一ヶ月卅錢　郵税五厘
廣告料　（五號十二字詰一行）一日（五十錢）
休刊日　（日曜大祭祝日ノ翌日）
福島縣石城郡平町鍛冶町十一　印刷所　本社專屬　磐陽社
發行兼編輯人　川崎文治
印刷人
福島縣石城郡平町長橋町卅五番地　發行所　常磐毎日新聞社
九月一日　夕刊

寄書

望月俊一君に答ふ

大森　勇

縣聯合青年團の大運動會に就いては私も前々から心配して居りました。先日相馬の新地で連合青年團の庶務主任の阿部君に會つたので運動會は何日頃やる積りかと聞きましたら未だ決定してないと云ふ返事でした。そこで早く期日を決定して呉れる樣にまた盛大に擧行される樣に注文して置きました。その後競技の種目が新聞に發表されたが平青年團には何等正式の通知がなかつたので氣になるまゝ郡役所に大越視學を尋ねて見ましたが郡の方にも何の通知もないと云ふことでした四五日前には運動會の期日が新聞で發表されまた一昨日はあなたから公開狀を頂戴したので昨日再び大越視學に面會して色々と相談した結果今日一日待つて見て縣から通知がない時は電話で問ひ合はして下さる事に致しました

縣から正式の通知に接すれば豫選會を開かねばなりませんが町村で別々に豫選會を開いてその選手が再び郡の豫選會に臨む樣では二重に手數を要しますから郡を一ケの單位と見做して適當の日と適當の場所を選んで盛大なる豫選會を開く方が便宜だらうと考へて居ります。大越視學も大体同意見の樣に承つて居りますが郡下の優秀なる選手諸君の御參加を得て盛大なる大豫選會を擧行されん事を今から樂みに待つて居る次第であります。

體力の增進は一國の隆盛を象徴すると云ふあなたの御意見には頗る同感であります。私も微力乍ら體育の爲めには大に働き度いと考へて居ります。たゞ運動競技には全く素人でありますから御心附きの點があつたら今後も御注意を願ひます。

磐陽の天地に大都市の建設 難きにあらず

郡山市制實現の日に當り 伏見助役感想を述ぶ

郡山町は全國的に記念すべき關東大震災の一週年目である本日から市制を敷いて郡山市となつた、本縣下に於ける新進氣鋭の生々した町として常に都市

計劃に 向つて郡山町と共に互ひに努力しつゝあつた平町は今日から郡山に對して一目置かねばならぬ立場となつた、茲に於てか平町の理事者たるもの一片感想なくんばあらずである。今日役場を訪れると折惡しく伊坂町長は出張不在中にて伏見助役の感想を叩けば「郡山は大正十二年度の調査に依ると戸數六千三百、人口三萬千九百を有し既に

市制を 敷くに充分な潜勢力を有して居たのです、平町は未だ戸數が四千五百、人口二萬四千ですから此點では到底郡山の敵ではありません、而して郡山は鐵道交通の便を得殊に諸工業が旺盛である爲に

商業も 確かに活潑であります、又郡山としては是非共縣廳の所在地たらんとする意氣込みを有し此の大目標に向つて常に絶え間なく突進しました爲めに市制の實現も思つたより早く解決する事が出來た樣に考へられます、飜つて平町を顧みますと

鐵道の 乗降客や郵便貯金、其の他通信の狀體等は正に郡山を凌賀してして居るのでありますが未だ郡山に及ばぬ點も多いのでありますから今後實力を備へる事に充分努力するとすれば市制の實現決して遠きにあらずと考へられます、それから郡山人の氣質は一つの共通の問題に向つては政黨政派の別なく一致結合し其の達成に向つて大いに力を盡すと云ふ樣な

美風が 認められるとの事です我平町の如きも過般水道問題の如き場合に當つて全く一丸となつて町永遠の利福の前に猛進した狀況に照し合せて考へますと此點も決して郡山に優るとも劣る樣な事はないと思ひますから今後町民が益々結果の力を固め町の

發展に 怠る事なくんば必ず郡山以上の大都市を磐陽の天地に建設する事の可能性ありと斷言するにはゞかりません」と語つた

秋らしくなり 綿も本綿も 高くなつた

此頃の樣に朝夕の風が秋らしくなつては蒲團や袷の新調にも何となしに心急かれる其爲めか此數日來木綿物や蒲團綿類の需要者が急に殖えて來たが家族中の冬物の仕度時に當り然も一般需要の大部分を占むる木綿物が現在では一割二三分高いといふ狀態である、綿も現在一割は騰つて居るが尚來月に入ればまだ此上一割は高くなる見込であると、

石城郡内に於ける 勞働統計の該當工場

昨年よりも三ケ所減少 來月十日に一齊調査

昨年十月十日全國一齊に調査執行される筈の勞働統計は關東大震災のため一ケ年延期され來月十日現在を以て調査の筈であるが石城郡内に於ては昨年該當工場十ケ所ありたるも其後勞働者卅名以下に下つた爲め平町吉伴鐵工場、赤井村磐城耐火煉瓦工場、四倉町萬年瓦工場は何れも現在では該當しない事になつたが郡内に於て卅名以上の勞働者を抱擁する工場は左の七ヶ所であると

平町品川白煉瓦六十九名
平町松崎硝子卅名、湯本品川白煉瓦二百十名、草野村鈴木材木卅四名、大浦村福島縣是製糸百三十八名、四倉町磐城セメント五百名

丹後澤の 懸賞魚釣會

一等は磐中生

昨日平町舊城跡丹後澤の懸賞魚釣會は參加者六十餘名あり一等は磐中四年生松本照明の六十三尾、二等は柳町荒木茂の五十二尾であつたと

大詐欺廣告 マーク紙幣

四錢五厘を 卅圓に賣る

この程から新聞廣告を利用して獨逸マーク一千圓を日本の三十圓内外で販賣する旨を出し契約者を募集してゐるが右は日本の金で僅か四錢五厘の値しかなくてその廣告は全く詐欺廣告であると云ふ、

飛行機が 平の上空を

二日間飛ぶ

所澤飛行學校では五日から二日間乙式一型五機所澤仙臺間の野外飛行を行ふ筈で途中小名濱へ着陸し往復共に平町の上空を飛ぶ由

梨賣りの頓死 石城郡赤井村西小川字上ノ原志賀三次(四七)は廿九日午後二時頃小川郷驛で頓死した死因は腦溢血であつたと

不平受付

投書歓迎

大工町踏切場 平町南白銀町から北白銀町並に仲町方面に至る踏切場は年が年中滿足に通じて居た事がありません、そう云ふとそれが爲に橋があると一口に云ふかも知れませんが若し車をひいたり自轉車に乘つての急用の場合はどうします、何んとか通行の便を圖つて遺つて戴きたい(不)

平驛長の答 アノ地點は列車入替が輻輳する爲實に困るんですが尚保線區にも話して置いて何んとか相談して見ませう

米國の無電 平磯で聽ゆ

原の町は失敗

太平洋四千三百浬を隔てゝの米國から無線電話の直接通話は既記の如く去る卅日午後六時から二時間放送されたが原ノ町無線電信局は失敗に終り茨城縣の平磯局では明瞭に聽く事が出來たと

平町縣參歓迎會 平町縣參事會一行の歓迎會は昨日午後七時から谷口樓上に於て開會、出席者五十餘名にして伊坂町長代理伏見助役の開會の辭に次ぎ縣參事會一行の歓迎會は昨日午後七時から谷口樓上に於て開會、出席者五十餘名にして伊坂町長代理伏見助役の開會の辭に次ぎ縣參桑田平吉氏謝辭を述べ宴に移つたが頗る盛況を呈した

驛構内に 廣告宣傳禁止

全國一齊に

バス全廢を第一に鐵道省では其他の整理改善に努めて居るが最近廣告宣傳ポスターが全國何れの停車場にも所狭きまでに貼布されてゐる爲め驛構内の體裁を損し殊に肝心の鐵道省掲示時間改正等が一般に徹底せぬ不都合さへを見るに至つたので九月一日から各官衙のポスター以外一切のポスター貼布を全國一般に亙つて絶對に禁止する事に決定した

家庭欄

カビた魚

カビにも種類がありますが食量品に生じたカビは有害のものではありません。鯉鮒などに棲息するカビはサプロングニアと云ふ白い糸樣のもので非常に繁殖力が盛んで有つて始めの中は生魚も其に耐へてゐますが、繁殖が増せば魚はやせて死んでしまひます。金魚等には常に清水を入れかへてやるより外に豫防の法はありません。この魚類につくバクテリアは池、沼溜川といふ淡水でにごつた所に多く鮎等のやうに清流に棲む魚には殆んと無いと云ふ位であります、小魚を料理する時鱗の所に白い絹糸のやうな毛のスヂがついてゐたならばそれは水中菌であつてバクテリヤで有りますから鹽ちどで、きれいに洗ひとつて住もうのが肝心です

村娘の見物

石城郡石住村處女會は旅行として去る廿九日國分學務委員の案内で赤井嶽藥師へ參詣平町へ下つて諸學校及び官廳や工場を見物し四倉に出でゝ卅一日無事歸村した

時化後は 小鰹が多い

夏鰹の末期

數日前の時化から海岸の模樣が一變して鰹漁は全く五里霧中となつたが漸く一隻で二百尾内外の漁獲に過ぎず魚體は二百匁程度の小鰹なので引合はぬ處から出漁船は極く少なく小鰹の漁を見るのは夏鰹の末期を示すもので潮流の關係から推しても秋季の所謂下り鰹に變らんとして居る模樣である

石城行政監視 石城郡内郷村は八九の兩日、湯本町は十十一の兩日水野郡長出張行政監視執行すると

震災遭難者の 追悼碑建立

磐城俠政會が 本日性源寺に

磐城俠政會主催關東震災遭難者追悼會は本日午前十一時五十八分より性源寺に於て執行渡邊性源寺住職以下十數名の僧侶の讀經終つて俠政會代表伊藤一及び橋本正三兩氏の弔辭あり來賓坪の松平刑務所長其他の焼香ありて閉式後同寺院境内に追悼碑を建立した

平町人事

△出生
△田町　藤本勝三氏長男耕輔
△塩槌小路　鹿又順内氏二男治夫
△四丁目鈴木長次氏長男公平

△婚姻
△双葉郡新山町　渡邊忠雄氏(二二)立町綾川カメヨ(二〇)
△石城郡大野村吉田多吉氏(三五)篠城跡國府田サト(二四)

△死亡
△白銀町黒井ミチ(九〇)
△南白銀町北郷保守(六一)
△紺屋町當時湯本町舟山サダ(一七)